

# 地震予知計画

(第1次～第7次(見直し含む))

測地学審議会

地震予知計画の構成の推移

	第1次地震予知計画 (昭和40～43年度)	第2次地震予知計画 (昭和44～48年度)	第3次地震予知計画 (昭和49～53年度)	第3次地震予知計画 一部見直し (昭和50年7月)	第3次地震予知計画 再度一部見直し (昭和51年12月)
計画の構成	1. 測地的方法による地殻変動調査 (三角測量、水準測量) 2. 地殻変動検出のための検潮場整備 3. 地殻変動の連続観測 4. 地震活動の調査 5. 爆破地震による地震波速度の観測 6. 活断層の調査 7. 地磁気・地電流の調査 8. 大学の講座、部門の増設等 9. データ処理システムの確立 10. 移動観測の整備	1. 全国にわたる基本的測地検査潮及び大・中・小地震観測 (1) 全国にわたる測地 (2) 検潮による海岸昇降の検知 (3) 大・中・小地震の観測 2. 特定観測地域における観測の集約的実施 (1) 測量 (2) 地殻変動の連続観測 (3) 微小地震観測 (4) 移動観測班による観測 (5) 地殻活構造調査研究 (6) 地震波速度の調査研究 (7) 地磁気及び地電流の観測 (8) 東京及びその周辺地域における深井戸等による観測 3. 観測強化地域の観測 4. 観測集中地域の観測 5. 岩石破壊実験 6. 計画の総合的推進体制 7. 人材の養成	1. 日本全域にわたる基本測量 (1) 全国にわたる測地測量 (2) 大・中・小地震の観測 2. 特別の地域における観測 (1) 特定地域における観測 [測地測量等第2次計画と同様の観測項目] (2) 観測強化地域の観測 (3) 観測集中地域の観測 3. 人工地震調査、岩石破壊実験等 (1) 人工地震調査 (2) 岩石破壊実験 (3) 観測方法の研究 4. 地震予知体制の整備等 (1) 観測センターの整備 (2) データの自動処理化 (3) 資料の保存・普及等 5. 観測体制の整備 6. 人材の養成	1. 今後推進すべき基礎研究 (1) 現在の予知研究計画に含まれているが実施の遅れているもの ① 海底地震観測 ② 地殻応力測定法の開発等 (2) 予知研究計画に含まれていなかったが、今後推進すべきもの ① 地震発生過程の理論的及び観測的研究 ② 地下水に関する研究 ③ 電気比抵抗変化等の観測 ④ 重力変化の精密測定等 (3) 総合的研究 ① 集中観測(テストフィールド) ② 全国的ネットワークとデータ処理システムの検討 ③ すでに蓄積されているデータの全国的規模での総合整理 ④ 史料地震学的研究 2. 基礎研究の推進等のための整備方策 (1) 地震予知観測センターの整備 (2) 測地等移動観測班の整備 (3) 常置の審査機構の整備等 3. 第3次地震予知計画の付加事項 (1) 首都圏における精密測量網の整備 (2) 特定地域における反復観測の強化 (3) 深井戸観測の強化	1. 地震予知観測の強化及びその体制の充実 (1) 全国の基本的観測の推進 (2) 特定地域の観測の拡充強化 (3) 観測強化地域、特に東海地域における観測の拡充強化 ① 長期的予知のための拡充強化すべき観測 ア. 測地測量 イ. 微小地震観測 ウ. 人工地震による地震波速度の時間的変化の観測及び地殻構造の調査 エ. 地殻変動連続観測 オ. 検潮 カ. 地下水に関する調査研究 キ. 重力変化の測定 ② 短期的予知のための観測の推進 ア. 常時監視体制の整備 イ. 機動的観測体制の整備 (4) 業務観測体制の整備充実 2. 地震予知の基礎的研究の推進について 3. 地震予知関連情報の判定体制の設備

	第4次地震予知計画 (昭和54～58年度)	第5次地震予知計画 (昭和59～63年度)	第6次地震予知計画 (平成元～5年度)
計画の構成	<p>1. 長期的予知に有効な観測研究の拡充強化</p> <p>(1)測地測量</p> <p>(2)地震観測</p> <p>(3)地磁気測量</p> <p>(4)移動観測班による総合精密観測</p> <p>(5)地震波速度変化の観測</p> <p>(6)長期的予知に関連する基礎調査</p> <p>(7)長期的予知のため開発を行う技術</p> <p>2. 短期的予知に有効な観測研究の集中的実施</p> <p>(1)高密度短周期反復測地測量</p> <p>(2)地殻変動連続観測</p> <p>(3)地震観測</p> <p>(4)地球電磁氣的観測</p> <p>(5)地下水の観測</p> <p>3. 地震発生機構の解明のための研究の推進</p> <p>(1)岩石破壊実験</p> <p>(2)地殻応力の測定</p> <p>(3)人工地震による地殻構造調査</p> <p>(4)テストフィールド</p> <p>4. 地震予知体制の整備</p> <p>(1)データの収集・処理体制の整備</p> <p>(2)常時監視体制の充実</p> <p>(3)判定組織等の強化</p> <p>(4)人材の養成、確保</p> <p>(5)国際協力の推進</p>	<p>1. 長期的予知に有効な観測研究の充実</p> <p>(1)全国を対象とする観測研究</p> <p>ア. 測地測量</p> <p>イ. 地震観測</p> <p>(2)特定の地域において必要な観測研究</p> <p>ア. 高密度短周期反復測地測量</p> <p>イ. 移動観測班による精密観測</p> <p>ウ. 海底諸観測</p> <p>(3)基礎調査</p> <p>ア. 地殻活構造調査</p> <p>イ. 史料地震学的調査</p> <p>2. 短期的予知に有効な観測研究の拡充強化</p> <p>(1)地殻変動連続観測</p> <p>(2)重力変化の測定</p> <p>(3)地震観測</p> <p>(4)地球電磁氣的観測</p> <p>(5)地下水・地下ガスの観測</p> <p>(6)首都圏など都市地域における地震予知のための開発研究</p> <p>3. 地震発生機構解明のための研究の推進</p> <p>(1)前兆現象発生の仕組み理解のための研究</p> <p>(2)前兆現象理解のバックグラウンドとなる研究</p> <p>4. 地震予知体制の整備</p> <p>(1)データの収集・処理体制の整備</p> <p>(2)常時監視体制の充実</p> <p>(3)予知関係組織等の強化</p> <p>(4)人材の養成・確保</p> <p>(5)国際協力の推進</p>	<p>1. 長期的予知に有効な観測研究の充実</p> <p>(1)定期的な測量・観測</p> <p>ア. 測地測量</p> <p>イ. 宇宙技術による観測</p> <p>(2)連続観測</p> <p>ア. 地震観測 イ. 検潮</p> <p>ウ. 地磁気観測</p> <p>(3)機動型観測</p> <p>ア. 陸上総合観測</p> <p>イ. 海底諸観測</p> <p>(4)基礎調査</p> <p>ア. 地殻活構造の調査</p> <p>イ. 史料地震学的調査</p> <p>2. 短期的予知に有効な観測研究の拡充強化</p> <p>(1)地殻変動連続観測</p> <p>(2)重力変化の測定</p> <p>(3)地震観測</p> <p>(4)地球電磁氣的観測</p> <p>(5)地下水・地下ガスの観測</p> <p>(6)首都圏における地震予知のための観測研究</p> <p>3. 地震予知の基礎研究の推進と新技術の開発</p> <p>(1)岩石破壊実験</p> <p>(2)地殻応力の測定</p> <p>(3)地殻変動構造・物性の調査・研究</p> <p>(4)内陸地震に関する基礎的研究</p> <p>(5)新技術の開発研究</p> <p>4. 地震予知体制の充実</p> <p>(1)データの収集・処理体制の充実</p> <p>(2)地震予知に関する各種資料の保存と活用</p> <p>(3)常時監視体制の充実</p> <p>(4)予知関係組織の充実</p> <p>(5)人材の養成と確保</p> <p>(6)国際協力の推進</p>

	第7次地震予知計画 (平成6～10年度)	第7次地震予知計画の見直し (平成7年4月)
計画の構成	<p>1. 地震予知の基本となる観測研究の推進</p> <p>(1)広域地殻活動に関する観測研究の推進</p> <p>ア. 地殻変動観測 イ. 地震観測 ウ. 地磁気観測 エ. 基礎調査</p> <p>(2)観測強化地域、特定観測地域等における観測研究の推進</p> <p>ア. 東海地域 イ. 南関東地域 ウ. 特定観測地域等</p> <p>2. 地震発生のポテンシャル評価のための特別観測研究の推進</p> <p>(1)海・陸プレート境界域のダイナミクスに関する観測研究の推進</p> <p>ア. プレート構造とプレート内反応分布の解明 イ. プレート境界のすべり運動の把握と広域応力場の長期的変動の予測</p> <p>(2)内陸の地震テクトニクスに関する観測研究の推進</p> <p>ア. 活断層の活動特性の解明 イ. 大規模観測実験による地震テクトニクスの解明</p> <p>3. 地震予知の基礎研究の推進と新技術の開発</p> <p>(1)基礎研究の推進</p> <p>ア. プレート収束域のテクトニクスの解明 イ. 地殻・マンツルの物性の解明 ウ. 地震発生サイクルのモデル化と前兆現象の発現機構の解明</p> <p>(2)新技術の開発</p> <p>ア. 海底観測手法の高度化と多項目化 イ. 地下深部における観測手法の開発 ウ. 宇宙技術利用の高度化</p> <p>4. 地震予知体制の充実</p> <p>(1)データの収集・処理体制の充実と相互利用の促進</p> <p>(2)地震予知に関する各種資料等の広範な活用と保存</p> <p>(3)常時監視体制の充実</p> <p>(4)予知関係組織の充実</p> <p>(5)予知研究体制の整備</p> <p>(6)人材の養成と確保</p> <p>(7)火山噴火予知研究との連携</p> <p>(8)国際協力の推進</p>	<p>1. 地震予知の基本となる観測研究の推進</p> <p>(1)広域地殻活動に関する観測研究の推進</p> <p>(2)観測強化地域、特定観測地域等における観測研究の推進</p> <p>2. 地震発生のポテンシャル評価のための特別観測研究の推進</p> <p>(1)海・陸プレート境界域のダイナミクスに関する観測研究の推進</p> <p>(2)内陸の地震テクトニクスに関する観測研究の推進</p> <p>3. 地震予知の基礎研究の推進と新技術の開発</p> <p>4. 地震予知観測研究体制の充実</p> <p>(1)観測研究データの流通と総合的評価システムの確立</p> <p>(2)常時監視体制の充実</p> <p>(3)地震予知に関する各種資料の広範な活用と保存</p> <p>(4)人材の養成と確保</p> <p>(5)大学における研究の充実</p> <p>(6)防災関係機関との連携の強化</p>